

(別紙)

令和7年度第6回宮城県地域公共交通活性化協議会

- 1 日時
令和8年3月25日(水)午後2時から午後2時40分まで
- 2 場所
県行政庁舎4階 特別会議室
- 3 出席者
徳永会長、泊委員、木幡委員、関澤委員、木村委員、千葉美記委員、石川文雄委員[代理]、佐々木隆委員、鈴木委員、市川委員、石川俊樹委員[WEB]、高橋委員、丸井委員、菊池委員[WEB]、佐々木学委員[WEB]、千葉克巳委員[WEB]、佐々木文恵委員[WEB]、佐藤健一委員[WEB]、宍戸委員、佐藤亮委員[代理]、鳴海委員[代理]、梶村委員[代理]、永澤委員[代理]、柴田委員[代理]
計24名
- 4 県出席者
関参事兼地域交通政策課長、阿部地域鉄道担当課長、佐々木副参事兼総括課長補佐 ほか

1 開会

佐々木副参事

それでは、令和7年度第6回宮城県地域公共交通活性化協議会を開会いたします。本日、司会を務めます宮城県企画部地域交通政策課の佐々木と申します。よろしくお願いいたします。

委員の紹介につきましては、お手元の名簿に代えさせていただきますので御了承ください。

なお、本会議には地域公共交通計画調査策定業務の委託先である株式会社ケー・シー・エス東北支社も参加しておりますので御了承ください。また、本日の協議会には、委員28名のうち24名が出席し、本協議会設置要綱第5条第2項に定める定足数を満たしており、本会議は成立いたします。

それでは開会にあたりまして、徳永会長から一言御挨拶をお願いいたします。

2 会長挨拶

徳永会長

本日は年度末のお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。本日の協議会は本年度最後の開催になります。昨年末の協議会以降、地域公共交通計画の策定に向けてパブリックコメントの実施や圏域別検討会の開催を経て、それらの意見を踏まえた形で最終案が出てきております。本計画は今後7年間の非常に重要な指針になりますので、しっかりと議論をした上で取りまとめられればと考えております。その他、国庫補助に関する計画変更やアンケートの実施、来年度の新規事業についても御報告等がございますので、皆様から忌憚の無い御意見を賜われればと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

佐々木副参事

以降の議事の進行につきましては徳永会長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

徳永会長

それでは次第に従い進めさせていただきます。まず「3 議事 宮城県地域公共交通計画(案)について」事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料1～6により説明】

徳永会長

それでは質疑に入りますが、御質問のある方は、所属とお名前の後に御発言をお願いします。

石川文雄委員
[代理:木村様]

質問ではありませんが、この一年間、宮城県地域公共交通計画に対して意見させていただいた立場として全体的にコメントさせていただきます。

まず計画の策定にあたって、最初期の骨子案を昨日確認しましたが「宮城県の皆様は本当に苦労されてここまでまとめてこられたな」と感じました。大変お疲れ様でした。

弊社では圏域別検討会も含めて、様々な場に出席させていただき、御意見を出させていただきましたが、利用促進や持続可能なネットワークの構築、都市計画等に関する議論など色々なことが反映された計画が出来上がったと考えています。この中には、交通事業者の立場や役割についても示されており、弊社としてもその内容を意識しながら運行してまいりたいと考えています。

一方で、鉄道利用者は仙台圏にはある程度の利用者がある認識でおりますが、地方部では利用状況の減少とともに収支も厳しい状況にあります。

これは交通を担う個人としての意見ではありますが1年間の取組で資料編に示される多くのデータが整理されて見やすくなったことが大きな成果かと思えます。もう1つは圏域別検討会の中で地域別に様々な議論ができたことが大きいと思えます。

一方で惜しかった点としては、計画にデータを活用しきれなかったことと感じております。収集したデータについては今後大切に活用していかなければなりません。

もう1点、圏域別検討会において参加者側からの質問や議論が少なかったと思いました。公共交通の現状を見ると、出生数とともに通学利用者数の低下や高齢化に伴う運転手の不足、車の利便性の高さなど、様々な課題がある中で、交通事業者や自治体が自分達の交通の課題だけを解決すれば良い時代は終わりを迎えています。

皆様が当事者意識を持って議論することを期待していますし、宮城県の事務局としての立場・役割が重要となると思えますのでどうぞよろしくお願いいたします。

関参事

御意見ありがとうございます。データを活用しきれなかった点は大きな課題と認識しています。ただ、市町村ごとの地域公共交通会議に加え、圏域別検討会を作ることができましたので、今後は皆様との意見交換にデータを加えて議論させていただきます。これにより、県全体での議論の活性化にもつながればと思っておりますので、引き続き交通事業者の立場で御意見をお願いいたします。

徳永会長

これまでは年間利用者数程度のデータしかありませんでしたが、今回から非常に苦労も多い中で詳細なデータが集まり、前進したかと思えます。とはいえ、データ活用を今後の改善にどう結びつけていくかが重要になります。今後7年間の計画期間の中で更に議論を深めていければありがたいです。

議論が少なかったという点については、1つのところで閉じた議論ではなく、関係者の皆様が集まって議論してどうすればいいかを考えていくことが重要だと思いました。

圏域別検討会の中で議論ができるようになりましたが、データ集めに大変御苦勞いただいた「学校・医療・都市計画」の分野としっかりと議論ができているかという点、まだ十分ではないと感じています。本計画の中でも都市計画との連携が示されていますが、単に都市計画ということだけでなく交通を利用す

る全ての方々が関係することで、より多くの関係者と連携できる場を積極的に作らなければいけないと思います。

そうでなければ、施設計画等が先行し、後からアクセスをどうするかについて我々に振られてもできることに限りがあるため、しっかりと連携を深めていくことを意識して取り組んでいただきたいと思います。

泊委員

交通の関係者との情報共有が図られたわけですが、一般への周知として計画ができたということだけでなく県民・市民の生活に密接に関わるということもお伝えして、理解していただき、さらには興味を持っていただく必要があると思います。

パブリックコメントで意見が出てこないというのは本件に限らないことですが、意見がなかったというところでとどまらず、どんどん知っていただく活動を継続的に展開していただきたいと思います。その中で改めて御意見が集まるような双方向の関係性を期待します。

これだけの関係者が集まり、大変な取組かと思いますが、この形だけでなく波及効果をもたらせられれば良いと思いました。

関参事

御意見いただいた点について、大きな課題だと認識しております。交通は交通だけで成り立つものではありませんので、まずは他分野との連携を県庁内で進めていきたいと思っています。また、各市町村内でも連携いただき、その結果を踏まえて各市町村の代表として圏域別検討会に御出席いただきたいと思います。

後ほど御説明いたしますが交通に関するアンケート調査も実施しておりますので、住民の方にも自分事として関心を持って御意見いただきたいと思います。そして県民の皆様が我が事として課題を持ち、課題の解決方法を我々で検討し、その内容に対して御意見いただけるような機会を設定できればと思っています。

丸井委員

交通全般に当てはまることですが、地域おこし協力隊員のような「一般人」が制度を変えることは中々難しい状況です。多分、この場に出席されている方々は色々な場で御活躍され、制度を変える立場の方々なのかと思います。

先週、アメリカを訪問して自動運転レベル4の運行状況を見たり、タクシーに乗ったりしてみて「これに制度を変える方々が乗ったらどう思うのだろう」、「日本の地域をどう変えていけば良いのだろう」と考えました。皆様は一般人よりも鮮明に次にどうすれば良いのかが身近に分かるの方々かと思っています。制度を変えられる方々が国内だけでなく、世界も含めて見て感じたことをフィードバックしていけば、もっと日本を良くできると思いました。

関参事

自動運転の将来について、関心が高い状況にあります。計画内にはあまり具体的な記載はできませんでしたが、規制・技術の部分が我々も手探りの状況であり、車両では国交省、道路規制は警察庁との連携が出てくると思います。

アメリカはその部分が整理され運行している状況かと思いますが、日本での新しいテクノロジーの活用は避けて通れない部分と認識しています。県内でもバスの実証運行等が行われていますので、その動向を把握しながら、今後の進め方を考えてまいります。

徳永会長

現時点では計画内に具体的な進め方の記載は示されていない状況ですが、御指摘のとおり技術は日進月歩で進展しています。計画期間である7年間の間にも情勢は変わることありますので、国の先進的な取組を全国展開していただけたらと思います。また、他の地域に先立ってトライすることも1つの可能性として考えられますので、乗り遅れることのないように情報収集をしっかりと行

い、適切に対応していただきたいです。一方で安易に新技術に飛びついてもコストだけが大きくなって継続できない事例もあるため、しっかりと見極めながら進められればと思います。

他に質問がないようですが、修正に関する御意見がなかったということで、先程の説明のとおり、事務局からの軽微な修正をもちまして、最終的な「宮城県地域公共交通計画」として策定してもよろしいでしょうか。

一同 異義なし。

徳永会長 それでは異義なしということで、これをもちまして「宮城県地域公共交通計画」が策定されたということといたします。

なお、再度見直した中で、軽微な変更等があった場合は私と事務局に一任いただくということでもよろしいでしょうか。

一同 異義なし。

徳永会長 それでは異義なしということで、進めさせていただきます。

以上で、議事を終了し「4 報告事項」に移らせていただきます。

4 報告事項

徳永会長 それでは「令和8年度宮城県地域公共交通計画別紙の一部変更について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局 【資料7、7別紙により説明】

徳永会長 質問等がある方はいらっしゃいますか。

鈴木委員 吉岡線の運行内容について急遽変更いただき、大変お手数をおかけしましたこと、ミヤコーバスに代わって、この場でお詫び申し上げます。年度末のため人の出入りが日頃よりも多い時期ですが、想定以上に要員状況が逼迫したと聞いております。カレンダーの日数変更については、事務局・運輸局の皆様は大変御迷惑をおかけしましたので以後、このようなことがないように取り組ませていただきます。

徳永会長 他に意見・質問等がないようなので、報告事項を終了し「5 その他」に移らせていただきます。

5 その他

徳永会長 それでは事務局より資料の説明をお願いいたします。

事務局 【資料8、9により説明】

徳永会長 質問等がある方はいらっしゃいますか。

アンケートは、ポケットサインの威力が凄いと感じています。以前との比較は注意が必要とされていますので、重ねて言う必要はないかと思いますが、ポケットサインというツールが1つのフィルターになっていることは十分に意識して分析・検討していかなければならないと感じました。特に回答者の偏りがないかについては丁寧に見ていただければと思います。

その他に皆様から何か御質問・情報共有等はございますか。

無いようですので本日の議事等については以上とさせていただきます、進行を事務局にお返しします。最後に、これまでの皆様の御協力により、計画を策定できたことに感謝を申し上げます。事務局も大変お疲れ様でした。

6 閉会

佐々木副参事

これにて、本日の協議は終了とさせていただきます。

事務局からになりますが、本計画の策定にあたりまして、本当に長時間にわたり様々な御意見・御指摘をいただき厚く御礼を申し上げます。今後は新たな計画に基づき、しっかりと取組を進めてまいりたいと思います。

なお、次回の協議会は6月の開催を予定しております。詳しい日時等については改めて御案内させていただきます。

また、4月の人事異動等によって委員の変更が想定されますので、新年度に入りましたら委員名簿について照会させていただきますので御協力をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第6回宮城県地域公共交通活性化協議会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。

以上